

資料 - 3 -

平成21年度第1回
沖縄総合事務局
開発建設部
事業評価監視委員会

事業評価監視委員会審議資料

再評価事業の説明資料

一般国道329号 南風原バイパス

沖縄総合事務局開発建設部

国道329号 南風原バイパス
(事業再評価)

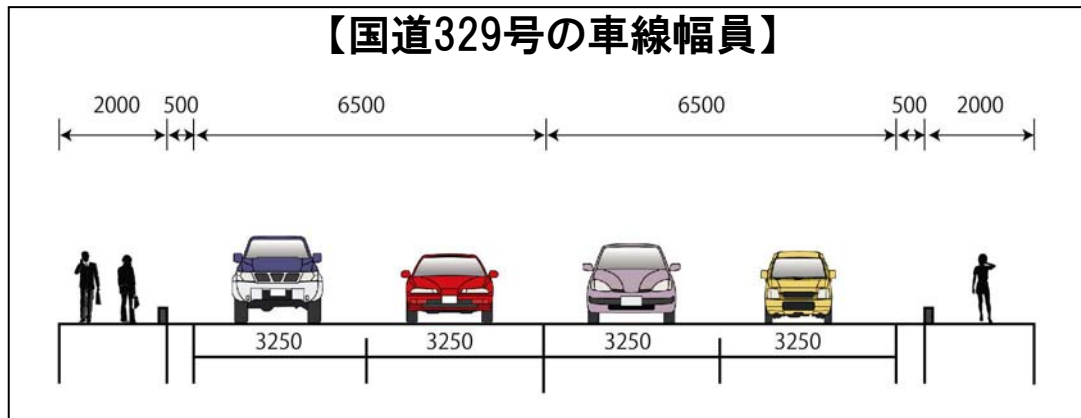
平成21年 6月18日

沖縄総合事務局 開発建設部

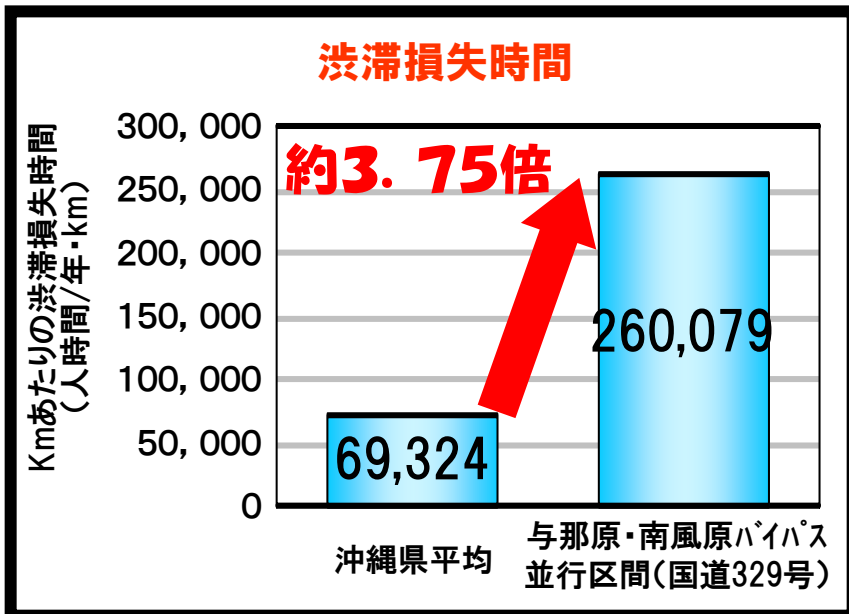
南風原町の現状 1

地域の現状(渋滞)

◇国道329号与那原・南風原バイパスの並行区間の
渋滞損失時間は、県平均(県道以上)の3.75倍



- ◇中央分離帯のない4車線道路
- ◇右折レーンがとれず、交通を阻害
- ◇歩道が狭い

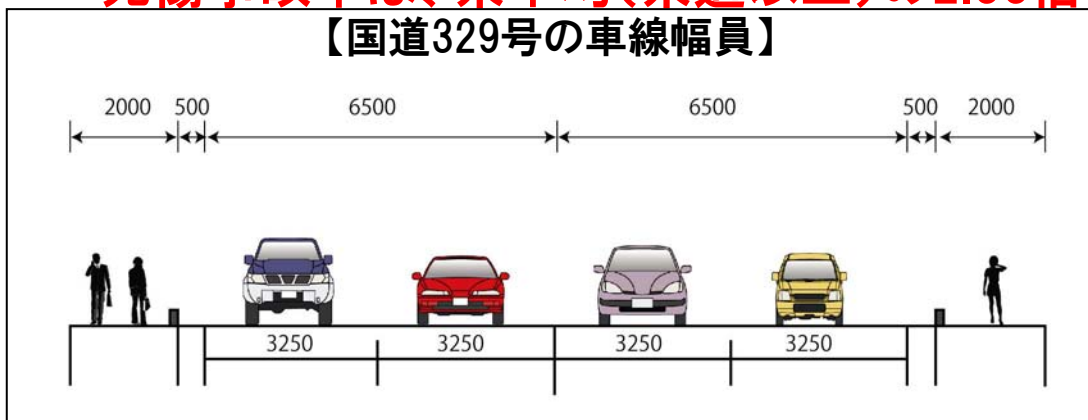


南風原町の現状2

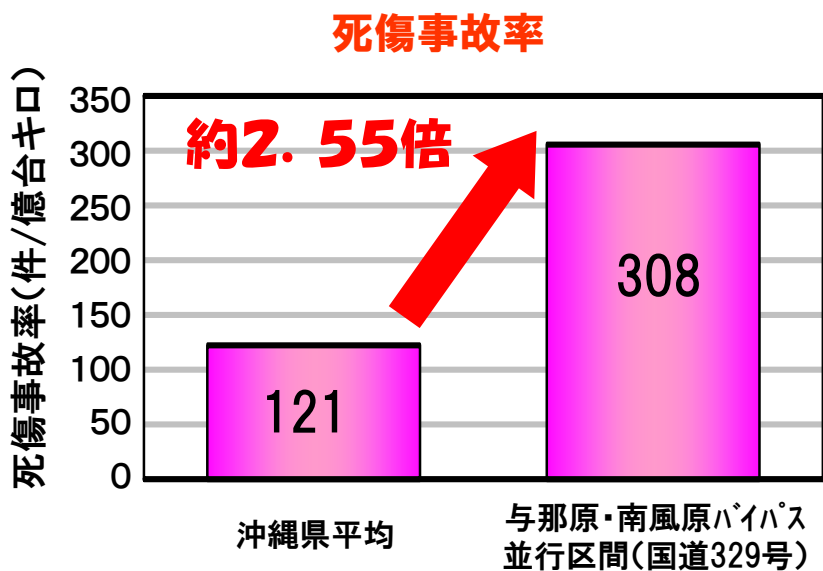
地域の現状(事故)

◇国道329号与那原・南風原バイパス並行区間の
死傷事故率は、県平均(県道以上)の2.55倍

【国道329号の車線幅員】



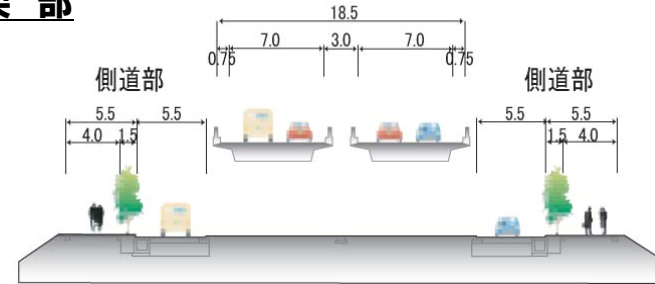
- ◇中央分離帯のない4車線道路
- ◇右折レーンがとれず、交通を阻害
- ◇歩道が狭い



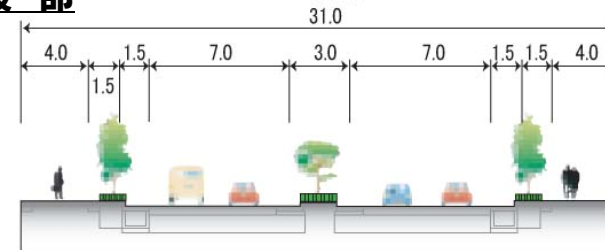
南風原バイパスの事業計画

南風原バイパス標準断面図(単位:m)

高架部



一般部



【事業計画諸元】

事業名	一般国道329号 南風原バイパス
事業区間	自) 沖縄県島尻郡南風原町字与那覇 至) 沖縄県那覇市上間
延長	2.8km
幅員	40.0m
道路規格	第4種1級
設計速度	60km/h
車線数	4車線



図 南風原バイパス路線位置図

南風原バイパスに対する地元の声 その1

～ 南風原町、那覇市へのアンケート、各種陳情書、南部地域総決起大会 より ～

1. 市、町の課題の抽出

- ①土地利用が混在している。
- ②集落内を通過する交通が多い。
- ③交差点が渋滞する。

2. 道路・交通の問題点

- ①国道329号の朝夕ラッシュ時には交通渋滞が慢性化している。
- ②国道329号沿線には商業・業務系施設の立地が顕著であり、沿道の交通量が増加傾向にある。
- ③那覇インター、南風原北インターへアクセスする交通が、幹線道路の渋滞を避け集落内の道路へ進入しており、通学路等で危険な状況となっている。

3. 道路を整備することによる効果

①バイパス沿いへの大規模商業施設の進出

- ・イオン南風原ショッピングセンター（平成16年5月オープン）
- ・サザンプレックス 映画館（平成18年4月オープン）

②医療機関、公共交通施設の進出

- ・県道宜野湾南風原線と連結、南部医療センター・こども医療センター（平成18年4月オープン） 沖縄県医師会、薬剤師会、沖縄県小児保健協会（平成20年オープン）
- ・第一交通バスターミナル（平成18年9月業務開始）
- ・沖縄都市モノレール首里駅が近くなる。
- ・真地久茂地線、那覇東バイパスとの連結による那覇市街地へのアクセス向上。

③バイパス周辺への企業の進出及び分譲マンションの立地

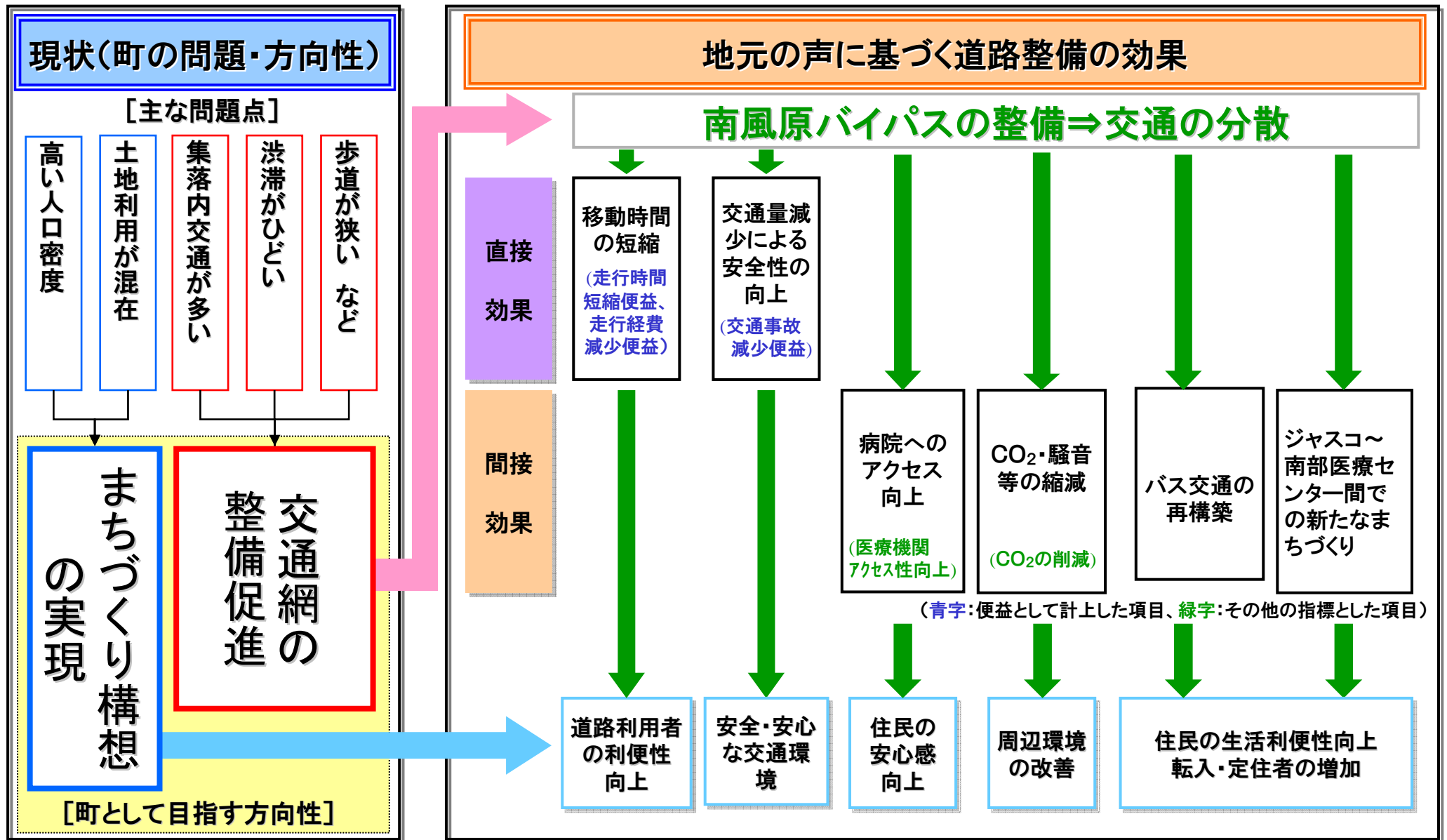
- ・(株)ニトリ（平成20年1月オープン）(株)ラウンドワン（平成21年4月オープン）
- ・分譲マンション「トゥエルブエスコート宮平」（平成18年・9階61世帯完売）
「ウイングシャトウ宮平」（平成21年8階26世帯完売予定）

4. 道路事業が中断する事による問題点

①南風原町第4次総合計画（平成19年4月策定）の変更、地域経済への波及

- ・企業の倒産、商業施設等の撤退、失業者の増加、集落内通過交通の増大による集落環境の悪化、町税収の大幅な減、経済活動の低迷、住民が道路行政への信頼低下、買収済み、用地の維持管理。

南風原バイパスが地元にも及ぼすインパクトの全体像と便益の関係



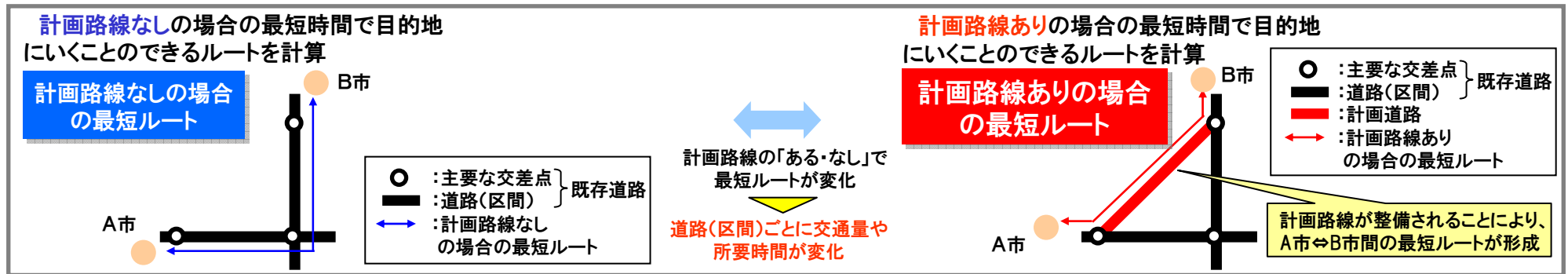
効果の定量的な把握の考え方（便益算出について）

便益とは、道路整備効果をお金で表示したものの。

【便益計算方法】

STEP1 計画路線の「ある・なし」で将来の交通量を配分

- ◇計画路線の「ある・なし」で道路(区間)ごとに交通量⇒速度⇒所要時間を計算
- ◇最短時間で目的地に行くことのできるルートコンピューター上で計算

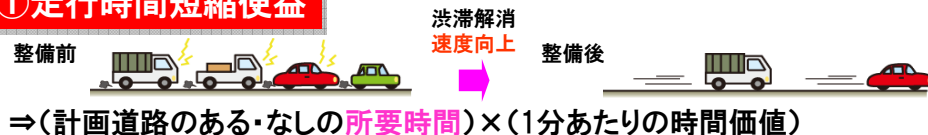


STEP2 便益の算出

【道路利用者が受ける3便益の算出(全ての道路区間が対象)】

◇STEP1の計算結果を集計し、計画道路のある・なしの所要時間、交通量の変化より、便益を算出

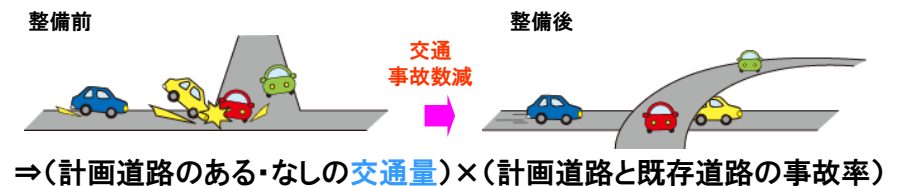
① 走行時間短縮便益



② 走行経費減少便益



③ 交通事故減少便益



効果の定量的な把握の考え方（その他効果の算出について）

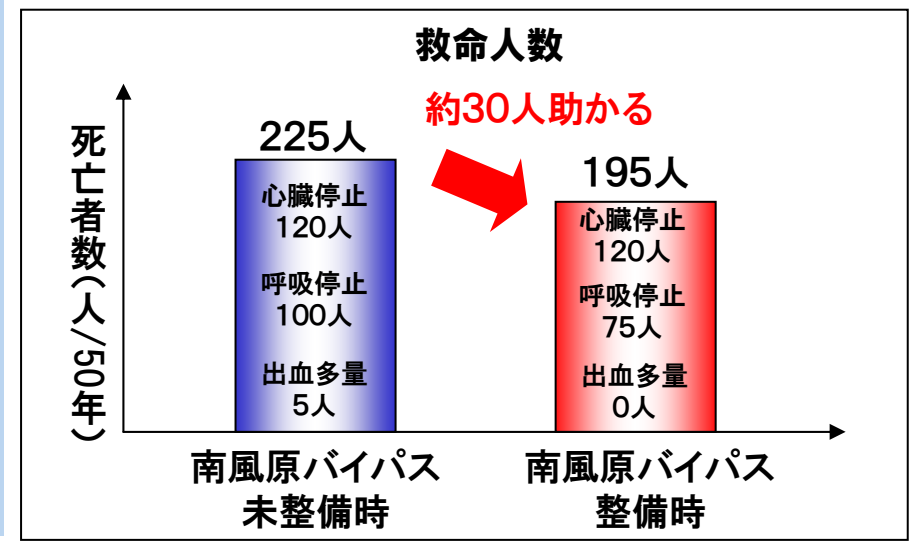
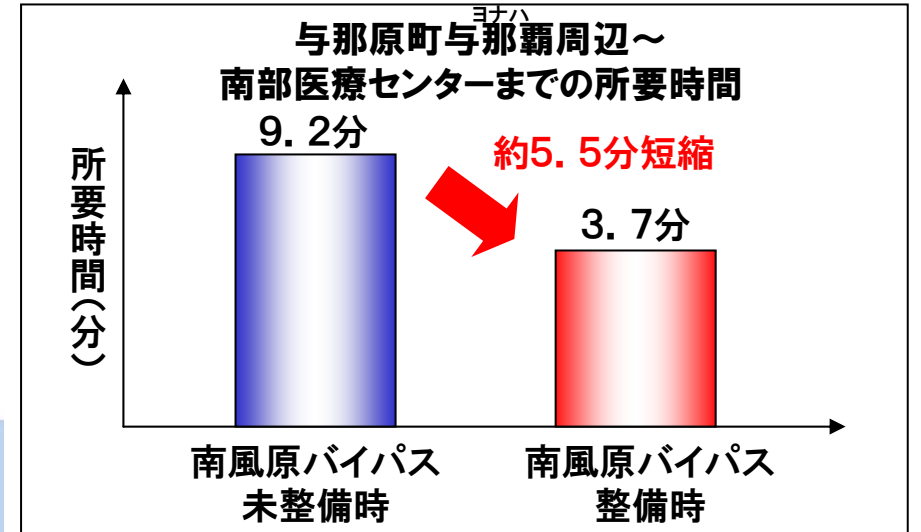
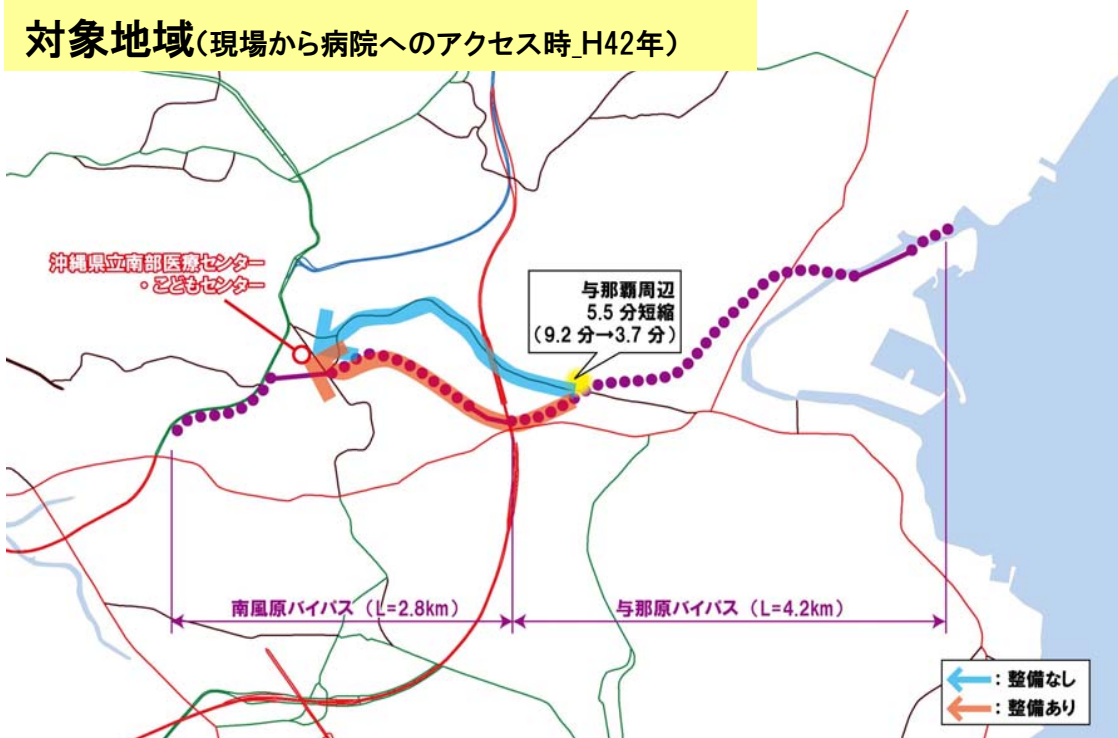
【地域社会が受ける便益等】

医療機関アクセス性向上

- ◇南風原バイパスの整備により、南部医療センターまでの所要時間が短縮
 - ・与那覇周辺～南部医療センター間：約5.5分短縮
 - ◇この所要時間の短縮により、約30人/50年間(225人⇒195人)の命が助かると試算される。
- ※上記の対象地域は、将来(H42年)において、整備前後で所要時間が1分以上短縮する地域(1地域)



対象地域(現場から病院へのアクセス時_H42年)



※死亡者数は、所要時間とカラー曲線により試算 10

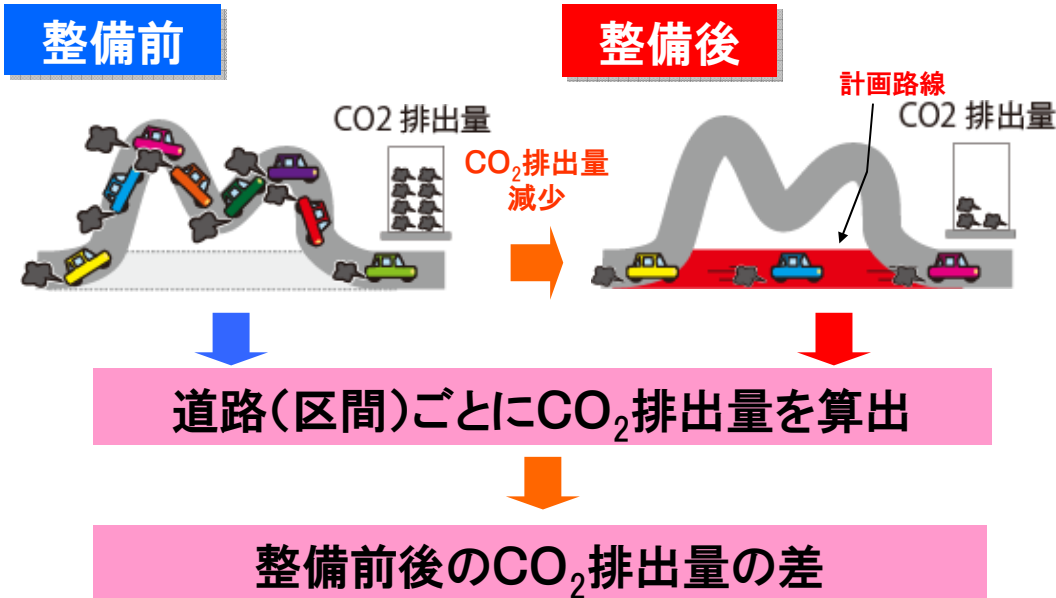
効果の定量的な把握の考え方（その他効果の算出について）

【地域社会が受ける便益等】

CO₂の削減

- ◇南風原バイパスの整備により、南風原バイパスに並行する国道329号の旅行速度が約1.4km/h向上 (33.8km/h⇒35.2km/h)
- ◇南風原バイパスの整備による旅行速度の向上により、沖縄県全体でCO₂は、50年間で約60,457t-c削減されると試算される。

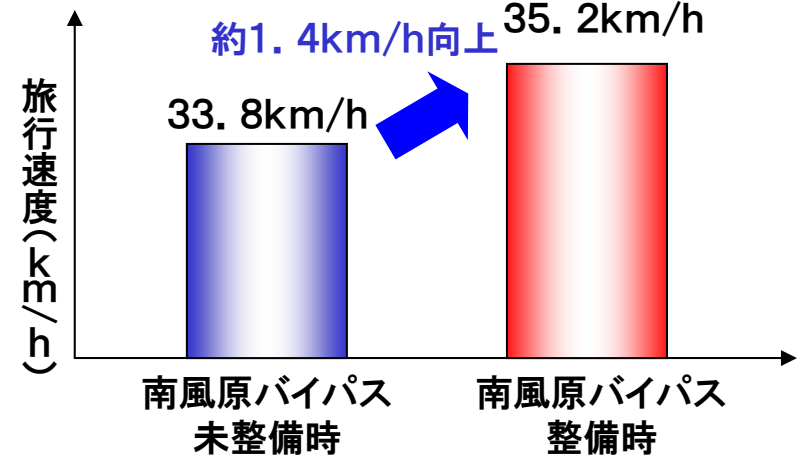
【CO₂排出削減量の算出方法】



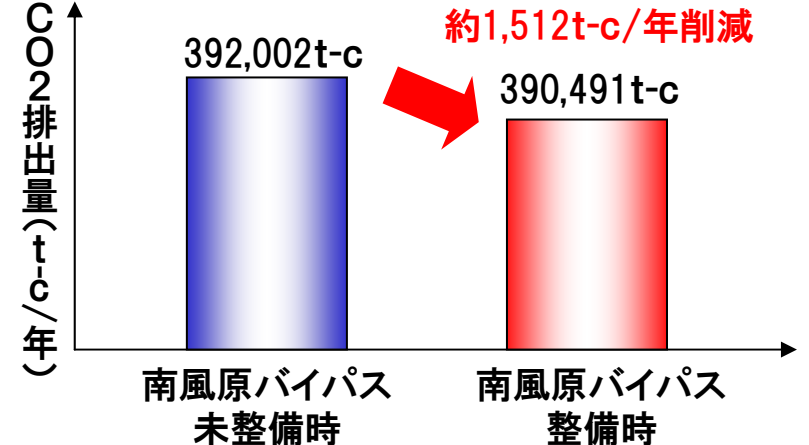
現道部の渋滞状況
(上間交差点付近)



南風原バイパスに並行する国道329号の旅行速度
(H42年ネットワーク時)



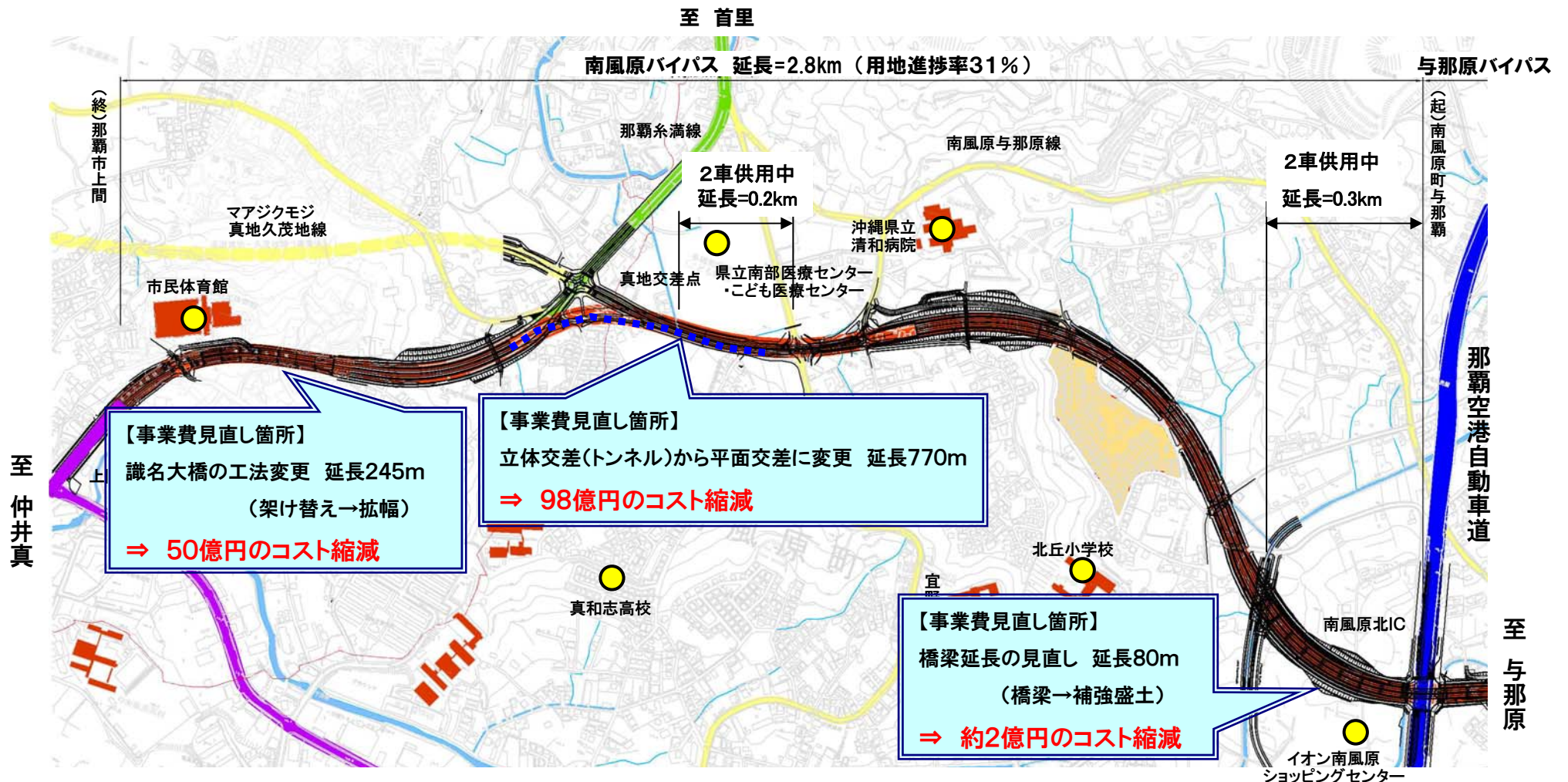
CO₂排出削減量(沖縄県全体_H42年ネットワーク時)



南風原バイパスの事業費見直し検討（案）

【事業費見直しによる費用】

現事業費：600億円 **約150億円のコスト削減** 事業費の見直し後：450億円



南風原バイパスの評価（検討案）

項目		費用
費用	事業費	600.0 億円
	コスト縮減	-150.0 億円
	見直し後の事業費	450.0 億円
	50年間の維持管理費	20.0 億円
	合計	470.0 億円
上記の「費用合計」を現時点の費用に換算(C)		378.0 億円
残事業費(C) ※H22年以降の事業費を現時点の費用に換算		326.7 億円

項目		便益	
効果 ※1	3便益	走行時間短縮便益	352.1 億円
		走行経費減少便益	31.3 億円
		交通事故減少便益	2.5 億円
		3便益計(B)	385.9 億円
地域社会が 受ける便益等	医療機関アクセス性向上	◇南風原バイパスの整備により高度医療施設までの所要時間が5.5分短縮 ◇所要時間の短縮により、50年間で約30名(試算値)の救命効果(19.4億円)※2	
	CO ₂ の削減	◇CO ₂ 排出削減量:60,457t-c/50年(1.9億円)※2	

※1 効果の金額は、社会的割引率(4%)、GDPデフレーター(H19年確定値)を踏まえた供用開始より50年間の総額

※2 ()は、供用後50年間の便益額として試算した値(参考)

●従来の3便益でのB/C

全事業

B:385.9億円

C:378.0億円

= 1.02 > 1.00

残事業

B:385.9億円

C:326.7億円

= 1.18 > 1.00

●3便益に地域社会が受ける便益等を加味

全事業

B: 385.9億円+地域社会が受ける便益等

C:378.0億円

残事業 ※

B: 385.9億円+地域社会が受ける便益等

C:326.7億円

南風原バイパスにおける地域の動き

- ①H21. 4. 7 沖縄県知事より費用便益比（B/C）の点検結果に関する回答において、すべての事業について、早期供用に向けて整備継続を要望。
- ②H21. 4. 9 （財）南部振興会、南部市町村会、島尻地域振興開発推進協議会の連名で国土交通大臣、内閣府沖縄担当大臣、沖縄総合事務局長あてに県内国道3事業の凍結解除と整備促進を求める要請文を提出。
- ③H21. 4. 15 南風原町議会にて事業の凍結解除と早期着工を求める要請決議を前回一致で可決。同日付で国土交通大臣、内閣府沖縄担当大臣、沖縄総合事務局長あてに要請文を提出。
- ④H21. 4. 27 南部地区市町村議会議長会にて県内3事業の凍結解除と整備促進を求める要請決議を可決。H21. 5. 1付で国土交通大臣、内閣府沖縄担当大臣、沖縄総合事務局長あてに要請文を提出。
- ⑤H21. 4. 28 沖縄県町村議会議長会にて県内3事業の凍結解除と整備促進を求める要請決議を可決。H21. 5. 1付で国土交通大臣、内閣府沖縄担当大臣、沖縄総合事務局長あてに要請文を提出。
- ⑥H21. 5. 12 沖縄県内における「国道3事業の凍結解除と道路整備促進を求める南部地域住民総決起大会」を開催。（主催者発表で参加者1, 150人）
- ⑦H21. 5. 13 総決起大会を受け、南部6団体より、国土交通大臣、内閣府沖縄担当大臣、沖縄総合事務局へ要請。
- ⑧H21. 6. 8 沖縄県議会土木委員会にて、南部国道凍結3事業について、国に凍結解除を求める意見書案を全会一致で可決。16日開会の本会議で全会一致で可決。17日、首相、国土交通大臣、内閣府沖縄担当大臣に要請。

南風原バイパスの評価（論点）

(1)コストの見直しにより今回算定したB/Cが1.0を上回る。

(2)定量化できない効果等

1)地域経済への発展等

・南風原町のまちづくりは南風原バイパス整備を前提に計画され、既にJUSCOや映画館等の大型商業施設、高次医療センター、バスターミナル等がバイパス沿いに立地しており、地域経済の発展や地域住民の利便性向上に寄与している。

2)那覇市方面との連携

・南部医療センター・こども医療センター等の高次医療施設へのアクセス、沖縄モノレール首里駅や那覇市街地との連結により地域住民の利便性向上が期待されている。(19.4億円)※

3)周辺街路の安全性

・国道329号等の幹線道路の慢性的な渋滞により、通過交通が地域の生活道路へ進入しているが、南風原バイパスの整備により、集落内の通過交通が減少し、日常的生活空間の安全に寄与することが期待されている。

4)国道329号の交通渋滞

・朝夕ラッシュ時における国道329号の交通渋滞の慢性化並びにバイパス整備を見越した大型店舗の出店による交通量の増加が想定されており、南風原バイパス整備による混雑緩和並びにCO₂削減効果が期待されている。(1.9億円)※

※ ()は、供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)